



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,560	2.2	97	37.0	100	43.7	74	80.5
27年3月期第1四半期	7,396	△1.1	70	△16.0	69	△39.6	41	△40.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 84百万円 (64.2%) 27年3月期第1四半期 51百万円 (△39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	23 70	— —
27年3月期第1四半期	13 13	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	8,918	1,909	20.1	568 48
27年3月期	7,333	1,919	24.8	577 24

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,790百万円 27年3月期 1,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	— —	0 0	— —	30 0	30 0
28年3月期	— —				
28年3月期 (予想)		0 0	— —	30 0	30 0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	14,947	0.6	187	△8.1	172	△9.1	120	9.4	38 21
通期	29,500	6.6	430	74.8	400	55.2	225	84.5	71 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規__社（社名）、除外__社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期 1 Q	3,150,000株	27年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	28年3月期 1 Q	211株	27年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期 1 Q	3,149,789株	27年3月期 1 Q	3,149,820株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格の上昇など、国内景気を下押しするリスクが存在することから、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、平成27年4月1日施行の食品表示法のもと、消費者の自主的かつ合理的な商品選択の機会の確保を促す制度として新たに機能性表示食品制度が導入されました。幅広い食品に機能性表示が可能となり、新たな需要喚起を呼び起こしておりますが、国内市場の縮小化や円安等による食品原材料の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。乳及び乳製品や飲料製品等の販売数量が減少したものの、茶葉類や果汁・ピューレ類をはじめとする農産物及び同加工品が好調に推移したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,560,809千円（前年同期比2.2%増）となりました。販売活動にともなう諸経費などの販売管理費は増加しましたが、前年同期に比べ売上総利益率が上昇したことから、営業利益は97,213千円（前年同期比37.0%増）、経常利益は100,057千円（前年同期比43.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,638千円（前年同期比80.5%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、一部の特定保健飲料が好調に推移しているものの、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、継続的な売上規模と利益確保の両立が難しい局面を迎えており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。乳及び乳製品の販売は低調に推移したものの、烏龍茶・ジャスミン茶等の茶葉類や果汁・ピューレ、濾過材をはじめとする資材の販売が好調に推移したことにより、売上高は7,283,418千円（前年同期比1.7%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。既存取引先からの受注はもとより、新規に菓子メーカーのPB生産が開始したことなどから、売上高は170,085千円（前年同期比9.1%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、集客数が増加したことや店舗運営の効率化に努めたことから収益が伸長し、売上高は268,778千円（前年同期比12.6%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,568,715千円増加し、7,722,701千円となりました。主な要因は、売掛金及び未収入金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ16,200千円増加し、1,195,665千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,584,915千円増加の8,918,367千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ、1,716,339千円増加し、5,969,401千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ120,980千円減少し、1,039,720千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,595,359千円増加し、7,009,121千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10,443千円減少し、1,909,245千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331,879	915,192
受取手形及び売掛金	3,185,055	4,346,097
商品及び製品	1,039,638	1,214,909
未着商品	308,983	581,331
原材料及び貯蔵品	26,066	20,353
未収入金	103,698	450,043
繰延税金資産	21,768	30,456
その他	141,294	170,017
貸倒引当金	△4,400	△5,700
流動資産合計	6,153,986	7,722,701
固定資産		
有形固定資産	414,928	412,331
無形固定資産	94,024	91,296
投資その他の資産	670,512	692,036
固定資産合計	1,179,465	1,195,665
資産合計	7,333,451	8,918,367
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,272,872	4,311,783
1年内返済予定の長期借入金	517,477	509,458
未払金	262,826	845,463
未払法人税等	7,465	40,709
賞与引当金	32,560	23,700
その他	159,858	238,287
流動負債合計	4,253,061	5,969,401
固定負債		
長期借入金	1,074,789	948,666
資産除去債務	6,044	6,070
その他	79,866	84,984
固定負債合計	1,160,700	1,039,720
負債合計	5,413,762	7,009,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,036,541	994,846
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,688,186	1,646,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,506	99,708
繰延ヘッジ損益	2,991	51
為替換算調整勘定	41,488	44,338
その他の包括利益累計額合計	129,986	144,098
非支配株主持分	101,516	118,655
純資産合計	1,919,689	1,909,245
負債純資産合計	7,333,451	8,918,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,396,174	7,560,809
売上原価	6,748,829	6,860,018
売上総利益	647,344	700,790
販売費及び一般管理費	576,388	603,576
営業利益	70,956	97,213
営業外収益		
受取配当金	1,773	1,950
為替差益	610	2,168
受取手数料	1,611	1,611
受取補償金	714	544
その他	696	917
営業外収益合計	5,406	7,192
営業外費用		
支払利息	3,258	3,340
支払補償費	3,420	913
その他	66	95
営業外費用合計	6,745	4,348
経常利益	69,617	100,057
税金等調整前四半期純利益	69,617	100,057
法人税、住民税及び事業税	19,251	38,955
法人税等調整額	7,710	△7,018
法人税等合計	26,961	31,937
四半期純利益	42,656	68,120
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,296	△6,518
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,359	74,638

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	42,656	68,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,629	14,202
繰延ヘッジ損益	△4,817	△2,940
為替換算調整勘定	△4,276	4,667
その他の包括利益合計	8,535	15,929
四半期包括利益	51,191	84,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,259	88,750
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	△4,700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,093,117	64,457	7,157,575	238,598	7,396,174	—	7,396,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69,123	91,453	160,576	—	160,576	△160,576	—
計	7,162,241	155,911	7,318,152	238,598	7,556,751	△160,576	7,396,174
セグメント利益又は 損失(△)	62,109	7,467	69,576	△1,497	68,079	2,876	70,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,876千円は、セグメント間取引消去2,876千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,228,607	63,423	7,292,030	268,778	7,560,809	—	7,560,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,811	106,662	161,473	—	161,473	△161,473	—
計	7,283,418	170,085	7,453,504	268,778	7,722,282	△161,473	7,560,809
セグメント利益	76,233	11,629	87,863	6,300	94,164	3,049	97,213

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,049千円は、セグメント間取引消去3,049千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。